

第18回 建築設備シンポジウム

「脱炭素社会への環境建築 PART2」

主催：日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会

後援（予定）：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、電気設備学会、日本設備設計事務所協会連合会、建築設備総合協会、建築設備コミッションング協会、日本冷凍空調学会、照明学会、日本建設業連合会、日本空調衛生工事業協会

日時：2022年11月18日（金） 9:30～16:00

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）＋オンライン（Zoom Webinar）

※Zoomによるオンライン配信（有料）も並行して行います。申込方法・参加方法は2ページ目をご覧ください。

2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みは、エネルギー起源とする排出削減の目標がみえはじめ、製造時などエンボディド・カーボンでの削減取り組みもはじまりつつある。向かうべき未来への成長戦略と位置づけられる取り組みであるが、一方、同時にCOVID-19やウクライナ危機など、意図せず社会に大きな影響を及ぼす事象も起きている。

ライフサイクルの長い環境建築は、脱炭素社会へ向かう過程において、意図するもの、意図しないもの、双方あわせ大きな社会変革“グレート・リセット”を迎えることであろう。そのため、様々な変革にも適応する仕組みを、今から構築しておくことが求められる。SDGsで代表されるように、影響領域をより広く捉え、多角的に中長期の将来視点を持ち、多くのステークホルダーとパートナーシップを発揮するため、今、この機会に、環境建築を軸に、実務者からは最新事例を、研究者からは最新研究を紹介し、パネルディスカッションで議論を行う。

プログラム

趣旨説明 近本智行（立命館大学）

9:30～9:40

特別講演 「暑熱環境時代の都市と建築」

森山正和（神戸大学名誉教授） 9:40～10:30

第1部 「最新事例・研究から脱炭素社会を考える」

司会：佐々木真人（日本設計） Webinar ホスト：光永威彦（明治大学）

1-1	横浜市役所	左 勝旭（竹中工務店）	10:40～11:00
1-2	開成町新庁舎における ZEB 技術と運用実績	伊藤安里（松田平田設計）	11:00～11:20
1-3	都市型「カガリット」を核とした「エネルギーまちづくりアクション2050」	鯉淵祐子（三菱地所） 古田島雄太（丸の内熱供給）	11:20～11:40

質疑応答

休憩

12:00～13:00

1-4	省エネ基準申請データから分かる建築設備設計仕様の現状と今後	宮田征門（国総研）	13:00～13:20
1-5	建築物衛生と COVID-19	林 基哉（北海道大学）	13:20～13:40
1-6	木質の保育・教育施設の環境	山口 温（関東学院大学）	13:40～14:00
1-7	SDGsを活用した建築・都市のサステナブルデザイン	川久保俊（法政大学）	14:00～14:20
1-8	GOOD CYCLE BUILDING	川島範久（明治大学）	14:20～14:40

質疑応答

休憩

第2部 パネルディスカッション 「カーボンニュートラルに向け、今取り組むこと」

15:00～15:50

コーディネータ：石野久彌（東京都立大学）、Webinar ホスト：光永威彦（明治大学）

パネリスト：講演者9名

まとめ 近本智行（前掲）

15:50～16:00

参加費：会員1,500円 会員外/後援団体2,000円 学生（会員/会員外）1,000円

定員：①建築会館ホール⇒70名 ②オンライン（Zoom Webinar）⇒400名

申込方法：クレジット決済によるWeb事前申込み（申込み締切11月16日（水）17時まで）

→①建築会館ホール：<https://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=667279>

→②オンライン（Zoom Webinar）：<https://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=667282>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 白鳥 mail: shiratori@ajj.or.jp tel: 03-3456-2057